

地球規模で環境への意識が高まる中で、省エネルギー、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出抑制などから、モノづくり

の現場で電力を高効率で熱エネルギーとして活用するエレクトロロビート技術が評価されている。さらに環境面のみにとどまらず、品質や生産効率の向上、職場環境の改善など幅広く貢献するケースも増えてきている。最新のエレクトロロビート技術の導入事例を紹介する。

(9回連載)

◇◇

丸善石油化学千葉工場は、京葉臨海コンビナートに位置する。エ

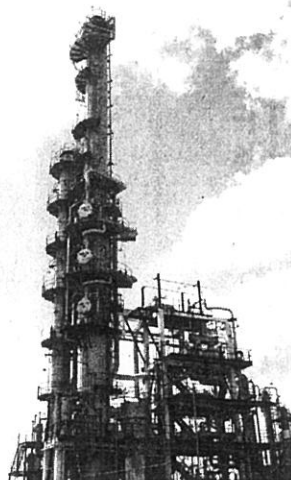
丸善石油化学千葉工場

モノづくり現場

低炭素・省エネ・生産革新 ①

消費エネルギー50%超削減

新蒸留塔で熱交換効率化



に使われ、年間17万ト... 部となる高圧塔が下... 生産能力を持つ。このMEKの生産装置に画期的な省エネ技術を搭載した新蒸留塔を導入している。東洋エンジニアリングが提案した「SUPERH I D I C（スーパ一ハ イディック）」と名付...

順調に稼働しているス... 体蒸留工程では混合液... 省の「エネルギー使用... 助金」にも採択され...

【事業所概要】所在地 千葉市原... 市五井南海岸3、04336・25・311... 11▽主要生産品目 基礎石油化学製... 品、溶剤など▽年間エネルギー使用量 114万6235... (副生エネルギー... 販売分を控除した場合104万4589... 排出量 2221万6589...